

ナジブ氏が第6代首相に就任 (2009.4.3)

ナジブ首相の誓い—“One Malaysia. People First. Performance Now.”

篠崎香織

(北九州市立大学)

4月3日に、ナジブ・ラザク(Dato' Sri Mohd Najib bin Tun Hj Abd Razak)が第6代マレーシア首相に就任した。イスタナ・ヌガラで行われた首相就任式において同氏は、アブドゥラ前首相夫妻やマハティール元首相夫妻、閣僚など319人の来賓が見守る中、ミザン・ザイナル・アビディン国王の前で首相就任を宣誓した。

その日の夜、ナジブ首相は約8分間の就任演説を行い、その模様は国営テレビ局RTM1チャンネルで全国に放送された。演説の中でナジブ首相は、新しいマレーシアを作り上げていくことを掲げた。スローガンは、“One Malaysia. People First. Performance Now.”。同首相はこの中で、新たなアプローチで人々と向き合う政府、すなわち、人々のことを第一に考え、きちんと仕事を遂行してその結果を重視し、多様なコミュニティに手を差し伸べる政府を作り上げていくことを強調した。また、様々な方面と協議を行い、地位や背景を問わず優秀な人材を広くリクルートし、政府の指導力と優先事項を立て直して強力な指導力を提供し、マレーシアがあらゆる潜在力を発揮できるよう導き、世界的な経済危機という難局を乗り切っていくとの決意を示した。

政府に対して批判や異論を表明しうる言論空間が、アブドゥラ前首相時代に拡大したと言われている。これに対してナジブ首相の下では、そうした言論空間が縮小するのではないかという見方がある。こうした見方に対抗するような発表を、ナジブ首相は演説の中に盛り込んだ。真の脅威に備えつつ、平和と法と秩序の維持を託されたことに対する市民の信頼を拡大していくとして、野党である汎マレーシア・イスラム党(Parti Islam SeMalaysia: PAS)と人民公正党(Parti Keadilan Rakyat: PKR)の機関誌に対する3ヶ月間の発行停止命令を解除し、国内治安法の被勾留者13人を釈放し、国内治安法を全般的に見直すを発表した。ナジブ首相の演説の直後、サイド・ハミド内務大臣は、ヒンドラフのメンバー5人とダルル・イスラム関係者5

人、外国人 3 人が釈放の対象であることを明らかにした(なお 2008 年 12 月の時点で、国内治安法に基づく被勾留者数は 46 人)。

2008 年 3 月の総選挙以来、与党連合の国民戦線(Barisan Nasional: BN)に対して変化を求める声が高まっている。またその声は、BN の中核政党である統一マレー人国民組織(United Malays National Organisation: UMNO)に直接投げかけられることが多くなっている。ブリタ・ハリアン紙のマンジャ・イスマイル総編集長は、UMNO が人々の信頼を回復するには、公平・公正で金銭の絡まないクリーンな党内選挙システムを構築しなければならないと指摘する。スター紙のウォン・チュンワイ総編集長は、新経済政策(New Economic Policy: NEP)の本来の精神は、貧困の撲滅と社会再編であり、UMNO 関係者を金持ちにするためでも、ブミプトラが 200 万リンギの家やゴルフの会員権を安く購入するためでもないとし、ナジブ氏に対し UMNO の変革を求める。星洲日報の社説は、UMNO はここ数年来、職権乱用、汚職、金銭政治など人々にマイナスのイメージを与え続け、そのイメージを一掃できない限り、BN が支持を回復することは難しいと述べる。

マレーシアの人々は、ナジブ首相が演説で誓った事柄を心に留め、それらが十分に履行されているか否かを日頃からチェックし、審判を下す機会の日備えるのであろう。

ナジブ首相の経歴

1953 年 7 月 23 日にパハン州クアラリピスに生れ、現在 55 歳。著名な政治家を送り出してきた名門一族の出身である。父親は第 2 代首相の故アブドゥル・ラザク・フセイン(在任期間: 1970 年 9 月～1976 年 1 月)で、民族間の経済的格差の解消を目的とした新経済計画(New Economic Policy: NEP)を導入したことで知られている。また第 3 代首相の故フセイン・オン(在任期間: 1976 年 1 月～1981 年 7 月)はおじに当たり、その息子で現在内務大臣を務めるヒシャムディン・フセイン氏はいとこにあたる。

クアラルンプールのセント・ジョーンズ学院で学んだあとイギリスに留学し、マルバーン・ボーイズ・カレッジを経てノッティンガム大学に入学し、工業経済学で学士号を得た。1974 年にマレーシアに帰国し、マレーシア中央銀行やペトロナス社に勤務したが、父親が 1976 年 1 月に白血病で急逝したことがきっかけで政界入りした。父親の死去により空席となったプカン国会下院選挙区議員の補選に、弱冠 22 歳で出馬して当選し、マレーシア史上最年少の国会議員となった。また国会議員 1 年目でエネルギー・通信・郵政副大臣に任命され、その後も教育副

大臣や財務副大臣を務めた。1982年には、29歳の若さでパハン州首席大臣に就任。1986年以降は大臣職を歴任し、文化・青年・スポーツ大臣(1986年～1991年)、国防大臣(1991年～1995年、1999年～2009年)、教育大臣(1995年～1999年)などを務め、2004年1月に副首相兼国防大臣に就任した(2008年9月に国防大臣兼任をはずれ、財務大臣を兼任)。



ナジブ首相の個人ブログ:<http://www.1malaysia.com.my/>

英語、マレー語、華語の3言語で設置。ナジブ首相の動静や政治的ビジョン、演説、経歴などに触れることができる。